

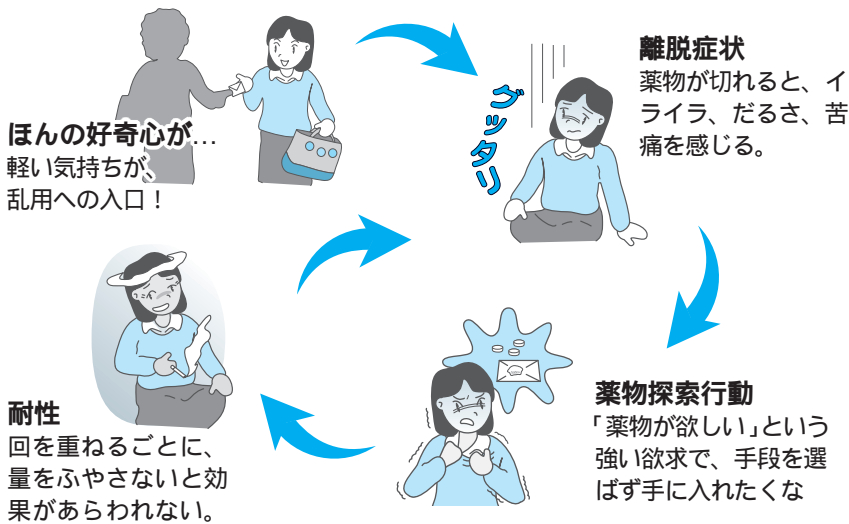
# つくるう まち 富士市

・覚せい剤撲滅の日」～



平成14年度静岡県薬物乱用防止  
ポスターコンテスト最優秀賞(中学の部)  
岩松中学校3年 赤石 知里<sup>あかいし ちさと</sup>さんの作品

やめたくてもやめられない悪循環  
～ 覚せい剤の反復作用 ～



「やせる」「集中力がつく」はうそ!  
「ダメ。ゼツタイ。」と断る勇気を持つ

麻薬・覚せい剤を乱用すると…  
精神障害、血圧上昇、心臓発作などを起こします。  
平穏な家庭を破壊します。  
凶悪な犯罪を誘発します。  
社会の秩序を乱します。  
自分ではやめることができなくなります。

富士市内での覚せい剤取締法違反者の数は、県内で第二位

平成十四年中の、富士警察署管内での覚せい剤取締り法違反の検挙者数は六十六人でした。前年より減少したものの、県内で二番目に多い結果です。また、このうちの四十六人が再犯者であり、その割合は年々増加しています。

毎月第三日曜日は「麻薬・覚せい剤撲滅の日」

市と、富士市麻薬・覚せい剤撲滅推進協議会では、麻薬・覚せい剤の危険性や有害性について市民の皆さんに知ってもらい、富士市から覚せい剤汚染をなくすために、毎月第三日曜日を「麻薬・覚せい剤撲滅の日」と決めました。  
家庭や地域での話し合い、事業所での取り組みを進めるなど、市民みんなで麻薬・覚せい剤撲滅を目指しましょう。

麻薬・覚せい剤乱用は「ダメ。ゼッタイ。」  
たった一度が命取り!

みんなで  
安心・安全な  
～ 毎月第3日曜日は「麻薬

## 「振りむけば 涙にくれる 父と母」

平成14年度静岡県薬物乱用防止標語コンテスト佳作(中学の部)  
元吉原中学校3年 稲葉 基貴さんの作品

麻薬・覚せい剤の恐ろしさを正しく知ろう!

覚せい剤乱用者の多くは、「一度くらいなら大丈夫」といった好奇心から、安易に使い始めています。この背景として、覚せい剤の弊害の恐ろしさが十分に理解されていないことがあります。

そこで、富士市麻薬・覚せい剤撲滅推進協議会では、四月から公民館を中心に各地区で麻薬・覚せい剤の恐ろしさを知ってもらうビデオ・講話会を開催します。(詳しい日程などについては、各地区の回覧などでお知らせします。)

麻薬・覚せい剤乱用は犯罪であるということをしつかり認識

誘われても「ダメ」と断る勇氣  
「一回くらいなら大丈夫」、「自分だけは大丈夫」といった考えは絶対に持たない

家庭や社会にはかり知れない弊害を及ぼすことを、正しく知ること  
(麻薬・覚せい剤乱用は、決して個人の自由ではありません!)

### 薬物についての相談窓口

富士警察署生活安全課

☎五〇一〇一〇

富士健康福祉センター

☎六五二二五三

地域での啓発を進め、麻薬・覚せい剤のない安全な街に



富士市麻薬・覚せい剤撲滅推進協議会会長  
志田 耕一さん(会長)

安心・安全な街を実現させるためには、麻薬・覚せい剤などの薬物の危険性を広く訴え、薬物の乱用者を出さないような行動を進めていく必要があります。そのためにも、「麻薬・覚せい剤撲滅の日」などを利用し、地域での啓発活動を進めていきたいですね。また、乱用者を罰するだけでなく、乱用者やその家族の悩みや苦しみを理解し、地域で支えていくことも大切だと思います。

薬物の供給元は、ほとんどが暴力団です。暴力団の撲滅は薬物の撲滅にもつながりますので、富士市暴力団追放推進協議会をはじめ、各種団体との連携を図り、麻薬・覚せい剤の撲滅運動を進めていきたいと思えます。

### 問い合わせ

富士市麻薬・覚せい剤撲滅推進協議会  
(事務局) 総務課 ☎五五二二七〇五